

## 【近畿 京都府相楽郡南山城村】

近畿ろうきん等と近畿圏のNPO支援機関  
との協働による、京都府南山城村を中心とした  
中山間・過疎地域の課題解決を担う  
団体等を対象としたコーディネート事業の  
進捗状況について

平成25年2月26日

特定非営利活動法人きょうとNPOセンター

# 1. モデル事業実施地域の課題



## ○南山城村とは？

京都府南部最東端に位置する、現在、京都府唯一の村・南は奈良県、北は滋賀県、東は三重県に隣接している。

## ○将来の南山城村

平成27年から高齢化を超える人口減少が始まり、平成37年までには高齢者人口とあわせて人口減少が急激に進む。(平成22年を基準とした場合、10%減) (平成20年度国立社会保障・人口問題研究所より)

### 【人口構造(平成21年度)】

総人口:3343人(65歳～74歳:546人／75歳以上:555人)

※高齢化率:32.9%(府内平均22.3%)

## 【実施地域の課題】

○村民の3人に1人が65歳以上であり、さらに急激な人口減少が始まる。

(平成22年度を基準とした場合、平成37年に10%減)

○限界に達しつつある行政改革

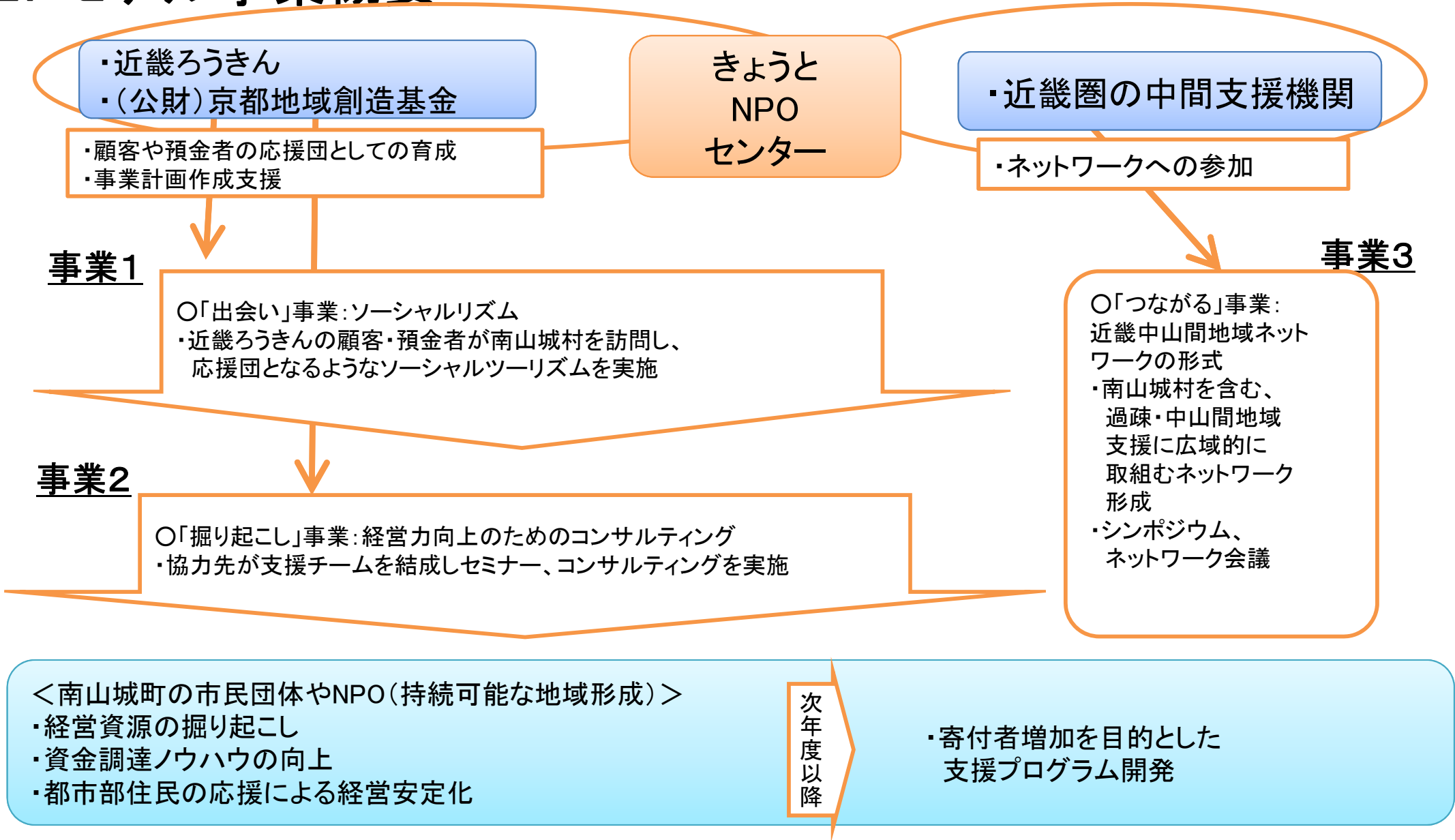
→すでに病院・消防・ごみ処理・し尿処理・中学校設置など住民に身近な事務の多くを一部事務組合により共同で運営せざるを得ない状況にある。職員数も府内の平均を下回る職員数に抑制している他、議員定数についても法定上限以下に抑え、三役、一般職員の給与についても削減されている。現状のままではさらなる行政改革の取り組みには限界があるものと思われる。

## ○なぜきょうとNPOセンターが？

京都府内において少子高齢化が最も進んでいる地域の一つであり、かつ中山間地域であることから新たな産業創出や人口増加が見込みづらい地域である。一方、今後、高齢化や人口減少が想定される中で住民の手による地域づくり活動が生まれ、育ちつつある。

各地で同様の状況を迎える中で、南山城村を課題解決の先進地域と位置づけ、これらの取組みを通じて、今後の各地での中山間・過疎地域でのモデル事例としていきたいと考えている。

# 2. モデル事業概要



本モデル事業を行うことにより、NPOと金融機関という従来にない資源連携を通して、近畿圏内の豊かな国土形成への可能性を探るための事業です。

### 3. 各事業概要及び成果

#### ① ネットワーク化と地域資源創出に係るコーディネート事業

「担い手」と支援者を対象に、地域の魅力を発掘する「ソーシャルツーリズム」を3回実施することにより、「担い手」と支援者のネットワーク化を図る。

- ・近畿ろうきんが近畿圏内に有している顧客や預金者の方々を対象に、地域の新しい公共の活動を展開する南山城村等の過疎・中山間地域でがんばる人々・若者をつなげる取組みとしての「ソーシャルツーリズム」(定員約25名×3回)を実施します。
- ・これまで中山間・過疎地域に関心のなかった方々たちが実際の地域や現場を訪問し、課題を共有する事を通じて、活動への共感や支援を引き出します。

これらの事業を通じて、長期的には、顧客や預金者が南山城村等の過疎地域への移住につながることも目指しながら、地域づくり活動の応援団として、団体の会員や寄付者、継続的な活動のボランティアを担う支援者を育成します。

#### 具体的なプログラム

- ＜第1回＞1月19日(土)7名
- ＜第2回＞2月 3日(日)8名
- ＜第3回＞2月 9日(土)19名



#### 理想の「森」づくりワークショップ

南山城村の里山を活用し、地域住民や都市住民が気軽に交流できる「森」づくりを行う。



### 3. 各事業概要及び成果

#### ① ネットワーク化と地域資源創出に係るコーディネート事業

「担い手」と支援者を対象に、地域の魅力を発掘する「ソーシャルツーリズム」を3回実施することにより、「担い手」と支援者のネットワーク化を図る。

ソーシャルツーリズムの様子



### 3. 各事業概要及び成果

#### ②経営スキルの向上のためのセミナー、コンサルティングの実施

「担い手」を対象に、資金調達、会計及び労務等に関するセミナーを3回またコンサルティング事業を2回、(1)における成果に基づいた地域資源の把握とその活用方法の検討を実施することで、経営スキルの向上を図る。

・南山城村を中心とした中山間・過疎地域で活動する団体の経営力向上を目的としたセミナーの開催(3回)やコンサルティング事業(3回)を行います。上記のツーリズムで抽出した魅力創出のためのアイデアを活用した経営資源の掘り起こし、助成金獲得、融資などの資金調達のノウハウ獲得、会計や労務等の実務支援を実施します。



##### ○セミナー

(第1回)年度終了後の実務(2/21)

(第2回)会計・税務(2/23)

(第3回)資金調達(2/27)

##### ○コンサルティング

地域活性化に取り組むNPOが継続的に都市住民を受入れるプログラムづくり。

→3/17に開催する「栗園づくりワークショップ」

→資金調達(助成金申請)

## 3. 各事業概要及び成果

### ③近畿中山間地域ネットワークの形成

「担い手」と他地域で過疎・中山間地域の活性化や都市間連携に取り組んでいる団体を対象に、それぞれの取組みの成果や課題を共有しあうシンポジウムを1回開催することで、関係者間のネットワーク化を図る。

また、近畿圏の中間支援組織と「担い手」を対象に「中山間地域の地域づくり」をテーマとした意見交換を目的としたネットワーク会議を2回開催することで、中間支援組織と「担い手」とのネットワーク化を図る。

- ・近畿ろうきんと近畿圏NPO中間支援機関との協働で、南山城村と同様に各地域で過疎・中山間地域の活性化や都市間連携に取り組んでいる団体が一同に介し、それぞれの取組みの成果や課題を共有しあうシンポジウム(1回)を開催します。
- ・また事業の実施に向けて、近畿圏の中間支援組織と「中山間地域の地域づくり」をテーマとした意見交換を目的としたネットワーク会議(2回)を開催します。知恵やノウハウの共有による事業や運営の質的向上、同じ取組みを展開する仲間づくり、そして近畿圏内にこれらの取組みを広めていくための波及効果を期待しています。

- 
- ネットワーク会議(10月31日、12月20日)
  - セミナー(3月3日(日))

## 4. 今後の課題・予定

### ① ネットワーク化と地域資源創出に係るコーディネート事業

- 都市住民を対象とした地域とのつながりを応援(情報発信など)
- 南山城村等で活動するNPOを応援(プログラムづくりなど)
- 上記を支える「南山城むらづくり基金(仮称)」の開発

### ② 経営スキルの向上のためのセミナー、コンサルティングの実施

- セミナーの開催
- コンサルティング事業の実施
- 自主勉強会などの学びの場を応援
- 上記を支える「南山城むらづくり基金(仮称)」の開発(再掲)

### ③ 近畿中山間地域ネットワークの形成

- セミナー(3月3日(日)開催)
- 知恵、ノウハウの共有と価値発信